

令和6年11月1日

令和6年度 学校運営協議会実施報告書

協議会名		第4回 大田区立池上小学校 学校運営協議会
日時		令和6年10月28日（月） 16時00分～17時00分
場所		大田区立池上小学校 図書室
出席者	委員	【地域】吉澤委員 小泉小林委員 尾形委員 望月委員 細野委員 吉川委員 森口委員 林委員 佐瀬委員 佐藤委員 倉野委員 【学校】平林校長 【事務局】吉野副校長
	委員以外	
議題		1 校長あいさつ 2 会長あいさつ 3 協議・報告 ○報告 自己評価について（校長） ○報告 令和7年度の教育活動について（通知表年2回発行・面談・保護者会） ○報告 池小フェスタについて（森口委員） ○報告 池上小防災活動拠点訓練について（望月委員） ○報告 池上エリアコンポストプロジェクト（林医院） ○協議 地域学校協働活動として何ができるのか（3つのグループに分かれて熟議）
協議内容 要旨	協議結果	① 今年度の自己評価報告書の視点及びの概要及び進捗状況を校長より説明した。 ② 次年度の教育活動の変更について、資料を基に校長より報告した。 ③ 池小フェスタの予定について PTA 会長 森口委員より、今年度の流れ及び次回にむけての方向性について報告した。 ④ 池上小学校防災活動拠点訓練について、望月委員より開催した反省を報告した。 ⑤ 池上エリアコンポストの方向性について、林委員より現時点での取組を報告した。 ⑥ グループに分かれ、今後の地域学校協働活動として何ができるか熟議した。
	意見概要	【はじめの言葉】吉澤会長より 学校運営協議会も4回目となり、学校のために子どもたちのために意見を出し合いながら協力して進められていると感じている。話し合ったことが実現できるようさらに充実させていきましょう。 【自己評価報告書について】 ・何をもとに評価していったらよいか、具体的な進め方を知りたい。 ・学校にさらに足を運んで、教育活動について理解していきたい。 ・形式がわかりづらいので、どのように進んでいくのか、具体的に説明してほしい。

	【通知表 2 回発行に変更】 ・教員が子どもたちに向き合う時間が増えることはとても良いこと。先生方の働き方改革にもつながるメリットはわかるが、デメリットも知りたい。 【池フェス】 ・400 名近い参加があった。 ・校内謎解きクイズラリーは、児童も保護者も楽しむことができる内容だった。 ・来年度は、以前の取組であった地域に出るという内容も取り入れていけるよう引継ぎをしていく。 【防災活動拠点訓練】 ・200 名ほどの参加があった。児童の参加も例年より多かった。児童が参加することで、町会の大人の参加を促したい。 ・要配慮者に対応するための訓練を行った。実際に想定した訓練ができた。 【エリアコンポストプロジェクト】 ・池上小学校の残菜を利用して、出張所で進めてみる計画でいる。いずれは、学校の中でできる取組にしたかどうかという提案があった。 【協議】～地域学校協働活動として何ができるか～ ○グループでの熟議後、班ごとに出た意見を報告した。 ・ものづくりに関連する講師を紹介していきたい。 ・外部とつながりながら、サポートしていく。CS として、どんなことができるか、何が提供できるか見える形にしたい。 ・専門的な人を探し出し、講師としてつなげていく。 ・今までやっている活動を継続・充実させていく。(文字の贈り物、読み聞かせ) ・地域の人材を活用した活動を考えていく。(登下校の見守り、昔遊び) ・町全体として学校を支えていく仕組みを作っていく。体験的な活動については、資金面で町会等がサポートできないか、そのあたりも探りたい。
協議資料	資料 1 自己評価報告書 資料 2 次年度の教育活動 資料 3 「全国コミュニティ・スクール研究大会 in 金沢」のご案内 資料 4 令和 6 年度東京都「地域学校協働活動推進フォーラムコミュニティ・スクール推進フォーラム」のご案内自己評価報告書について 資料 5 学習発表会のご案内 資料 6 池上エリアコンポストプロジェクト
備考	欠席：八代委員 前川委員